東部病院 新人研修スケジュール

4 13 本 A A	月	日	曜日	グループ	午前		午後	
4 14 木 B 多数な情報をとのように入事さるかのプロルバイス 投入するということを表現の意味を確認を理解を研究と変化である。 おおいの研究を確認する。 おおいの研究を確認する。 を記されるのである。 を記されるののである。 を記されるのである。 のであるのである。 のであるのである。 のであるのである。							変刻たエレノ鬼老に	
4 22 金 B 転削・転落の予防 乗車物分別のルール 変形達割 子インパンで足して必要 4 27 水 A 国際機能の基礎が成 I 特別のチャナ・ションアセスメント 特別・号東介別 石運技術リン 日の景別 石運技術・コード・ションアセスメント 特別・イント 日本の場別・イント 日本の場別・イント 日本の場別・イント 日本の場別・イント 日 日の 日のテア 日本の場別・イント 日本の場別・イント 日本の場別・大工・大工・大工・大工・大工・大工・大工・大工・大工・大工・大工・大工・大工・					必要な情報をどのように入手するか		投与するということ	
4 22 金 B 転機・振荡の予核 廃棄物金の売益の調査 「インスリフリを正しく勢う 4 27 水 A A 整理機器の基礎が設置 スキンワア 有窓供修用 5 13 会 A 日本 有談表がり 有談表がり 有談表後でり 有談表後でり 有談表後でり 有談表後でり 日本場所 日本のに	4	21	木	Α	患者の療養環境・療養生活を安全・安楽に維持する		看護技術Ⅲ	最も身近な重点ハイリスク薬
4 28 木 B 輸液ボンラ・カンシボンコの使い方 スキンケア 移動を持ちまれる B 輸液ボンラ・カンシボンコの使い方		22	金	В	転倒・転落の予防	廃棄物分別のルール		
28 木 B 報酬のアンフリンディンの使いり 特別・移動・移動・移動・移動・移動・移動・移動・移動・移動・移動・移動・移動・移動・	4	27	水	А			スキンケア	
5 14 土 B 採血・ハバンロック 口機器別 名談教展 5 22 日 A フィジカルイグザミネーション・アセスメント 若識実践を可視化する目		28	木	В	輸液ポンプ・シリンジポンプの使い方 		X+3//	移動·移 東 介助
14 土 B 中華ロイバリンピック 日本の名	5	13	金	Α			自选汉州 V	看護実践を可視化するI
5 23 月 B 添後患者の観察ポイント 名箋過程 酸素療法 5月31日 火 A 患者の「食べる」を支援する BLS 6月2日 木 B 摂食・幅下 口腔ケア 医療機器の基礎知識Ⅱ 夜勤前の総復留 6 23 木 A 患者の「一大事」に迅速に対応する I 看護技術パー 現場の記録 24 金 B 急変時の気づきと報告 急変時の記録 現保・誘診問置数カアーデルの得入・技去 6 29 水 A 正しい理解に基づいた患者対応 I メンタルヘルス 3か月フォローアップ 2		14	土	В				看護必要度
23 月 B 病後患者の観察ポイント 名態過程 BLS 指食・嚥下 口腔ケア 医療機器の基礎知識 変動的の総復習 名譲技術が	5	22	日	Α	フィジカルイグザミネーション・アセスメント		看護実践を可視化するⅡ	酸素療法
6月2日 木 B 摂食・嚥下 口腔クア 医療機器の基礎知識II 夜動前の総復留 6 23 木 A 患者の「一大事」に迅速に対応する I 看護技術 II 24 金 B 急変時の気づきと報告 急変時の記録 場尿・膀胱留置カテーテルの挿入・抜去 6 29 木 A 正しい理解に基づいた患者対応 I メンタルヘルス 3か月フォローアップ 8 25 木 A 正しい理解に基づいた患者対応 II 患者の「一大事」に迅速に対応する II 災害発生時の看護 9 29 木 A 配給を要する薬剤の限力 II IVナースになるために II 災害発生時の看護 10 5 水 A IVナースになるために II 接着の自身を受けると対しするとの表を表を表しまする。 IVナースになるために II IVナースになるために II IVナースになるために II 所の総定置 輸放管理と有害事象 総公管理 輸加療法 11 22 人 D IVナースになるために II IVナースになるために IV・実践編~ 人生の最終機能にある患者と家族のウア 12 来 本 A 患者の「一大事」に迅速に対応する II 人生の最終機能にある患者と家族のウア 12 未 本 A 力イ・事業のを持定を考える 基本のウアとエンゼルウア 12 未 A B フィジカルアセス		23	月	В	術後患者の観察ポイント		看護過程	BX 不小示 / A
6 23 木 A 患者の「一大事」に迅速に対応する I 看護技術/I 24 金 B 急変時の気づきと報告 急変時の記録 海尿・誘誘管質力テーテルの挿入・抜去 6 29 水 A 正しい理解に基づいた患者対応 I メンタルヘルス 3か月フォローアップ 8 25 木 A 正しい理解に基づいた患者対応 II 患者の「一大事」に迅速に対応する II 災害発生時の看護 9 29 木 A 配数を要する薬剤の取り扱い 病毒・患療・の取り扱い 病毒・患療・の取り扱い 病毒・患療・の取り (シャラス・クラット・フェンマの担保 現場で感じる「連和感」を大切にするへ看護師と倫理~ 1Vナースになるために II 現場で感じる「連和感」を大切にするへ看護師と倫理~ 10 7 金 B 薬剤の総復習 IVナースになるために II IVナースになるために II 対サースになるために II 対サースになるために II 対サースになるために II 対サースになるために IV~実践編~ 11 22 火 D IVナースになるために II 人生の最終段階にある患者と家族のケア 12 木 A 患者の「一大事」に迅速に対応する II 人生の最終段階にある患者と家族のケア 12 木 A 13 金 人生の最終日本を表する 総和ケアとエンゼルケア 1 19 木 A 1 フィジカルアセスメントを基盤に 総和ケアの優先度を考える 2 19 木 A 1 カーコートの優別を表する 第和ケアとエンゼルケア 1 20 金 B・日	5月31日		火	Α	患者の「食べる」を支援する		BLS	
6 24 金 B 急変勢の気づきと報告 急変勢の記録 場保・静脈倒電カテーデルの挿入・抜去 6 29 水 A 正しい理解に基づいた患者対応 I メンタルヘルス 3か月フォローアップ 8 25 木 A 正しい理解に基づいた患者対応 II 患者の「大事」に迅速に対応するII 9 29 木 A 配金を要する業剤の取り扱い 解求・事業・向精神等・ 事業・内臓神等・ 事業・内臓神等・ 事業・内臓神等・ 事業・内臓神等・ 事業・内臓神経・ 事業・内臓神経・ 事業・日本・内臓力の変化 Jの では、日本・大切にする~看護師と倫理へ 事業・日本・内臓力の経を関係を受ける。 本意はおした倫理へ 事業・日本・内臓力の経を関係を関係を表する。 IVナースになるために II	6月	2日	木	木 B 摂食・嚥下 口腔ケア		口腔ケア	医療機器の基礎知識 II 夜勤前の総復習	
24 金 B 高変時の気づきと報告 高変時の記録 特殊・物味に置いて・サルファーブルの押人・依左 30 木 B 正しい理解に基づいた患者対応 I メンタルヘルス 3か月フォローアップ 3か月フォローアップ 3か月フォローアップ 3か月フォローアップ 3か月フォローアップ 3か月フォローアップ 3か月フォローアップ 淡毒発生時の看護 10	6	23	木	Α	患者の「一大事」に	迅速に対応する I		
30 木 B 認知能患者への接し方・抑制の在り方について		24	金	В	急変時の気づきと報告	急変時の記録		
30 木 B 認知症患者への接し方・抑制の在り方について 患者の「一大事」に迅速に対応するⅢ	6	29	水	Α	正しい理解に基づ	ブいた患者対応 I	メンタル人ルフ	3か日フォローアップ
8 26 金 B せん接状態を呈する患者への接し方・患者からの暴力への対応 災害発生時の看護 9 29 木 A 配慮を要する素剤の取り扱い 原業・毒薬・何精神薬・重点・イリスク薬 IVナースになるために I 張神と安全の担保 現場で感じる「連和感」を大切にする~看護師と倫理~ 10 7 金 B IVナースになるために II IVナースになるために II 原業剤の総復習 IVナースになるために II IVナースになるために IV・実践編~ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		30	木	В	認知症患者への接し方・抑制の在り方について		7,27,0,407	30/19/10 777
26 金 B 世人妄状態を呈する患者への接し方・患者からの暴力への対応 災害発生時の看護 9 29 木 A 配慮を要する薬剤の取り扱い 薬素 電点ハイリスク薬 重点ハイリスク薬 重点ハイリスク薬 変素 (1) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	8	25	木	Α	正しい理解に基づいた患者対応Ⅱ		患者の「一大事」に迅速に対応するⅢ	
9 30 金 B		26	金	В	せん妄状態を呈する患者への接し方・患者からの暴力への対応		災害発生時の看護	
30 金 B 画点パイソスク集 法律と安全の担保 現場で感じる「連和時」を大切にする~有識師と倫理で 10	9	29	木	Α		IVナースになるために I		
10 7 金 B 薬剤の総復習 輸液管理と有害事象 感染管理 輸血療法 11 22 火 D IVナースになるためにIV~実践編~ 24 木 F		30	金	В			現場で感じる「違和感」を大切にする~看護師と倫理~ 	
21 月 C IVナースになるためにIV〜実践編〜 22 火 D IVナースになるためにIV〜実践編〜 24 木 F	10	5	水	Α	IVナースになるためにⅡ	IVナースになるためにⅢ	IVナースになるためにIV	輸血療法
11 22 火 D IVナースになるためにIV〜実践編〜 24 木 F		7	金	В	薬剤の総復習	輸液管理と有害事象	感染管理	
24 木 F		21	月	С			-めにIV〜実践編〜	
12 8 木 A 患者の「一大事」に迅速に対応する II 人生の最終段階にある患者と家族のケア 致死性不整脈の理解・急変対応~チームで患者を救う~ 緩和ケアとエンゼルケア	11	22	火					
12 9 金 B 致死性不整脈の理解・急変対応~チームで患者を救う~ 緩和ケアとエンゼルケア 12 木 A-1 13 金 A-2 17 火 フィジカルアセスメントを基盤に患者ケアの優先度を考える 20 金 B-1 23 木 B-2 24 金 B-2 2 木 A 3 金 B 1年フォローアップ研修		24	木	F				
9 金 B 致死性不整脈の理解・急変対応~チームで患者を救う~ 緩和ケアとエンゼルケア 12 木 A-1 A-1 13 金 A-2 A-2 17 火 A-2 フィジカルアセスメントを基盤に患者ケアの優先度を考える 20 金 B-1 B-1 23 木 B-2 B-2 24 金 B 1年フォローアップ研修	12	8	木	Α	患者の「一大事」に迅速に対応するⅡ		人生の最終段階にある患者と家族のケア	
1 13 金 A-1 16 月 A-2 17 火 A-2 17 火 19 木 B-1 20 金 B-1 24 金 B-2 24 本 A 1年フォローアップ研修		9	金	В	致死性不整脈の理解・急変対応~チームで患者を救う~		緩和ケアとエンゼルケア	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1	12	木	A-1				
17 火 A-2 フィジカルアセスメントを基盤に患者ケアの優先度を考える B-1 20 金 B-2 24 金 B-2 1年フォローアップ研修 3 金 B		13	金					
1 19 木 B-1 20 金 B-2 24 金 B-2 24 木 A 1年フォローアップ研修		16	月	A-2	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
19 木 B-1 20 金 B-1 23 木 B-2 24 金 B-2 2 木 A 1年フォローアップ研修 3 金 B 1年フォローアップ研修		17	火					
23 木 24 金 B-2 2 木 3 金 B 1年フォローアップ研修		19	木	B-1				
2 木 A 2 木 A 3 金 B 1年フォローアップ研修		20	金					
24 金 2 木 A 3 金 B 1年フォローアップ研修		23	木	B-2				
2 1年フォローアップ研修 3 金 B		24	金					
3 金 B	2	2	木	Α	1年フォローアップ研修			
3 10 金 人工呼吸器の基礎知識		3	金	В				
	3	10	金				人工呼吸器の基礎知識	